

“頭挟まれ” 作業員死亡

◆周囲の安全確認、“逃げ場”の確保◆

2015年8月8日(土)9時6分

東京電力は8日、福島第1原発で協力企業の50代の男性作業員がタンクに頭を挟まれ、搬送先の病院で死亡したと発表した。東電が詳しい状況を調べている。東電によると、死亡した作業員は大手ゼネコンの2次下請け企業に所属。8日午前6時45分ごろ、工事に関わる車両を清掃中、車のタンクのふたに頭を挟まれた。第1原発では昨年3月、作業員が土砂の生き埋めになって死亡したほか、今年1月には雨水をためるタンクから作業員が“落下”し、死亡する事故が起きている。

作業事故 機械に挟まれけが

2015年4月30日 21:32

30日午後4時5分ごろ、栃木県の機械部品製作会社で、従業員の男性(63)が肩を機械に挟まれ負傷したと関係者から消防通報があった。警察によると、男性は左肩甲骨付近を負傷した。男性は旋盤機で作業中、機械の回転部分に巻き込まれ、ドクターヘリで搬送された。

過去3年間 トラック事故の特徴 “追突事故”が多い

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる、車間不足と注意力不足

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

子供たちが夏休みに入りました

- 子供の飛び出しに要注意！
- スピードを落として、しっかり安全確認！

「慣れ」、「過信」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁>

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ〜し！」

愛別のR39交差点、右折車と直進バイク衝突、バイクの短大生死亡

◆交差点右折時は、直進車と、右からの横断歩行者・自転車に注意◆

2015.8.8 22:19

8日午後4時15分ごろ、愛別町の国道39号の交差点で、乗用車とバイクが衝突した。バイクの、短大生の男性(21)は頭を強く打ち、病院で死亡が確認された。旭川東署によると、交差点を右折しようとした乗用車と直進中のバイクが衝突したという。事故状況を調べている。

下りのカーブ、バイクはみ出し、“転倒” 大型ダンプと衝突、“即死”

◆「デイ・ライト」で、ツーリングバイクの事故を未然に防ごう◆

2015/08/08 23:40

8日午前11時15分ごろ、秋田県の国道で、船員の男性(42)のバイクが、対向車線を走ってきた、会社員の男性(61)の大型ダンプに衝突。バイクの男性はほぼ即死状態。死因は内臓損傷。警察の調べでは、バイクは、下りの左カーブで対向車線にはみ出して転倒し、対向車線を走ってきたダンプの右側面に衝突した。現場は片側1車線。バイクの男性は友人と2人でツーリング中、大型ダンプは仕事で現場に向かっていた。

トラックが、渋滞の最後尾の軽乗用車に、“追突”

5台絡む事故、4人重軽傷

2015.8.7 18:30

7日午前11時40分ごろ、埼玉県で、トラックが渋滞の最後尾の軽乗用車に追突、計5台が絡む事故があり、4人が重軽傷を負った。高速隊によると、軽乗用車は、追突の弾みで横転し、乗っていた60代ぐらいの男女があばら骨を折るなど重傷。命に別条はないとみられる。軽乗用車の前にいた乗用車やトラックの3台も玉突き状態になり、40代の男性2人が首の捻挫など軽傷を負った。高速隊は、自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、トラックの運転手の男性容疑者(51)を現行犯逮捕。事故の状況や原因を調べている。